

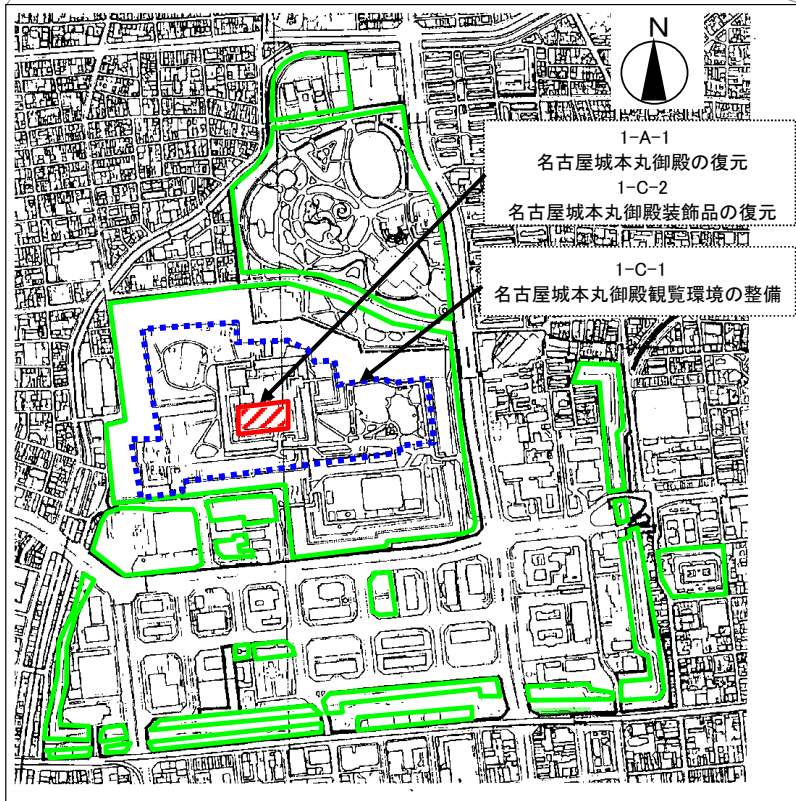
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成27年2月24日

計画の名称	名城公園の魅力向上															
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	名古屋市									
計画の目標	名城公園の基幹施設である名古屋城において、震災により焼失した本丸御殿を復元すること等により、市民の新たな誇りを創出するとともに、歴史的・文化的価値と魅力を向上し名古屋圏の活性化を図る。															
計画の成果目標（定量的指標）	観光施設である名古屋城への来場者を、135万人（H21年度）から170万人（H27年度）に増加															
定量的指標の定義及び算定式	名古屋城への来場者数を、本丸御殿の公開による来場者増を勘案して算出する。										備考					
										当初現況値 (H21実績)	中間目標値 (H24年度)	最終目標値 (H27年度)	2期工事完成後の目標 28年度 190万人			
										135万人	150万人	170万人				
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,026百万円	A	5,786百万円	B		C	240百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		4.0%					
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	公園	一般	名古屋市	直接	名古屋市	都市公園事業（名城公園）	名古屋城本丸御殿の復元	0.3ha	名古屋市						5,786	工期平成21年1月～平成30年3月
										合計					5,786	
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	施設整備	一般	名古屋市	直接	名古屋市	名古屋城本丸御殿観覧環境の整備	本丸御殿照明・サイン、城内案内板の設置	名古屋市						118		
1-C-2	施設整備	一般	名古屋市	直接	名古屋市	名古屋城本丸御殿装飾品の復元	飾金具など装飾品の復元	名古屋市						122		
										合計					240	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
1-C-1	本丸御殿完成後の観覧客の満足度を高めるとともに、名古屋城来場者のスムーズな誘導を促すことができる。															
1-C-2	本丸御殿復元を忠実にを行うことにより歴史的・文化的価値を高めることができる。															

社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	名城公園の魅力向上	交付対象	名古屋市
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		



本丸御殿復元イメージ

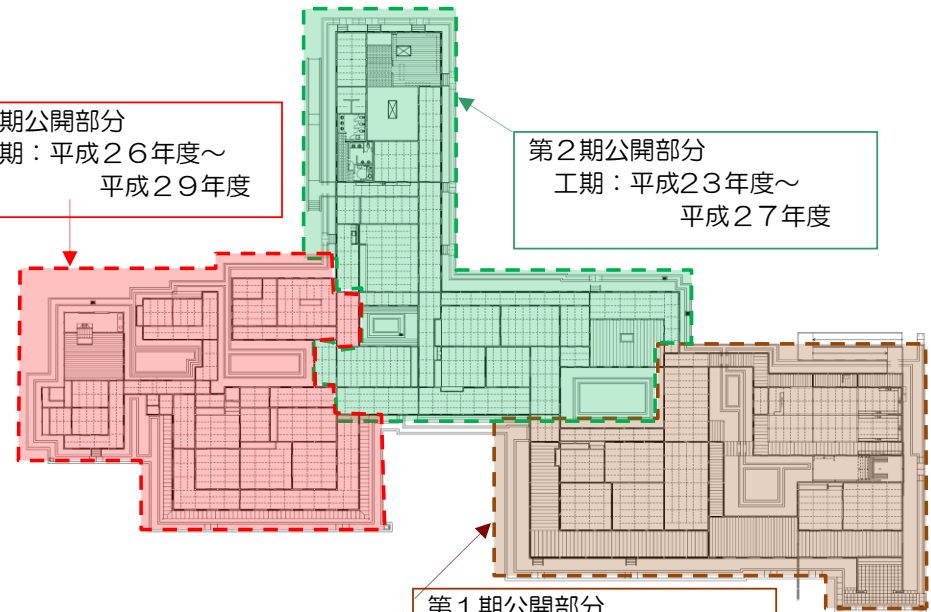


[本丸御殿平面図と復元スケジュール]

第3期公開部分
工期：平成26年度～
平成29年度

第2期公開部分
工期：平成23年度～
平成27年度

第1期公開部分
工期：平成20年度～
平成24年度



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:名城公園の整備

都道府県名:名古屋市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)名古屋市中期戦略ビジョンに位置づけされている。	○
2)特別史跡名古屋城跡全体整備計画の基本方針に沿って整備されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1)要素事業の相乗効果等が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等をふまえた事業実施の確実性)	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
⑥地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1)地元の整備検討委員会の意見を参考にして進めている。	○